



# 第37回防衛問題セミナー

## テーマ：弾道ミサイルの脅威とわが国の対応



北海道防衛局は、10月30日札幌市教育文化会館小ホールにおいて、「弾道ミサイルの脅威とわが国の対応」をテーマに、防衛省防衛政策局防衛政策課の中野防衛政策企画官と内閣官房副長官補付の伊藤内閣参事官を講師にお迎えし、札幌市自衛隊協力会の後援及び自衛隊札幌地方協力本部の協力をいただき、第37回防衛問題セミナーを開催しました。



北海道防衛局 古川局長

### 第1部「北朝鮮情勢と弾道ミサイル防衛について」

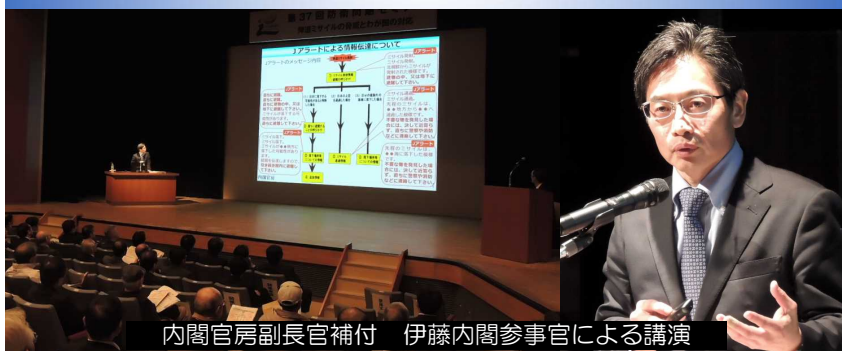


防衛省防衛政策局防衛政策課 中野防衛政策企画官による講演

第1部として、中野防衛政策企画官が「北朝鮮情勢と弾道ミサイル防衛について」と題し、北朝鮮の保有・開発する弾道ミサイルの動向や北朝鮮による核開発、わが国における弾道ミサイル迎撃システムの概要について、講演しました。

### 第2部「Jアラートによる弾道ミサイル情報の伝達について」

続いて第2部では、伊藤内閣参事官が「Jアラートによる弾道ミサイル情報の伝達について」と題し、Jアラート（全国瞬時警報システム）の概要や弾道ミサイル落下時の行動、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施について、講演しました。



内閣官房副長官補付 伊藤内閣参事官による講演

今回のセミナーには、台風の影響による悪天候にも関わらず約180名の方々にご来場いただき、皆様からは「弾道ミサイルの種類や迎撃方法についての説明がわかりやすく、理解が深められた。」、「Jアラート伝達後の行動が具体的に理解でき有意義であった。」など多くの感想が寄せられました。



講演後の質疑応答



当局では今後も、道内の皆様に防衛省の政策、自衛隊の活動等について、理解を深めていただくため、各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。